

【特別企画】

新学期からすぐできる！お手軽デジタル表現実践ベスト3実演！

和歌山大学教育学部附属教育実践総合センター 豊田充崇

今回、皆様に配布しています「D-project 実践事例集」の中から、「3分でできるデジタル表現授業実践」をソフトウェアの操作解説を交えて実演します。PhotoshopElements3.0の新しい機能を紹介し、授業への応用アイデアを提案するのが目的です。特に初心者の方、大歓迎です！PhotoshopElements3.0を使った「3分間ミニ授業」ベスト3をぜひご覧ください！

【1】 3分でできる！本格派オートスライドショーの作成

まずは、スライドショーのテーマを決定します。ここでは、例示として「町内史跡めぐり」のスライドを作成してみましょう。

町内の有名な史跡を散策して撮影した写真を準備し、当地で調査・学習したことをキャプションやナレーションに追加します。ナレーションは必ずしも入力する必要はありません。「作品」ボタンを押して、「スライドショー」を選びます。

「写真を追加」し、その表示間隔と画面切り替え効果を設定します。右図は「学級・思い出スライド」を例としています。**BGM**を選択します。ここで、**ナレーション**を録音することもできます。ここでも、**キャプション**を入力することができます。(複数入力も可能です)完成したスライドは、WMV形式か、またはVIDEOCDとして出力できますので、ほぼすべてのコンピュータで再生可能です。

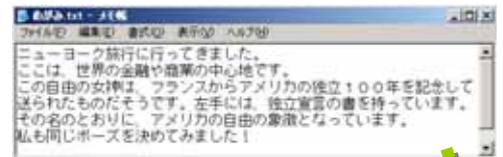
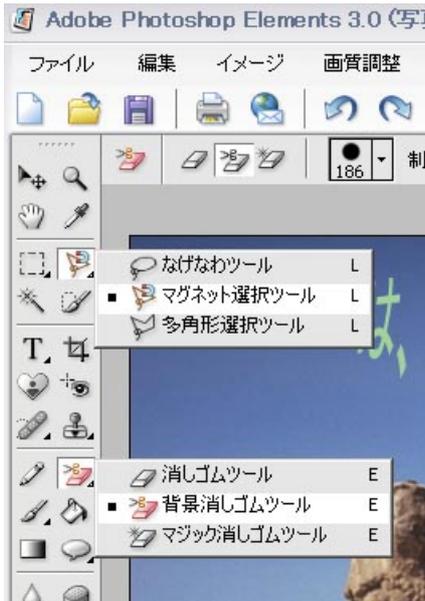
スライドショーのタイムライン

表示間隔などがわかりやすい。初期設定で、3秒表示・1秒画面転換にしておくともスムーズに作業が進みます。



スライドショーは、映像編集ソフトに負けない表現力を持っており、テーマ次第で応用範囲は無限に広がります！ぜひ、一度挑戦してみてください。

【2】画像合成で「仮想世界旅行」に出かけよう！



きっちりとリサーチをして、こういったコメントをしっかりと書くことがポイント！

合成写真を作ろう！



「切り抜き」に威力を発揮するのが、「マグネット選択ツール」(境界線を半自動的にトレースしてくれます)。また、ブルーバックで撮影した場合は、「マジック消しゴムツール」で一気に背景を透過させることもできます。ほかにも、「背景消しゴムツール」や、マスク処理等を使って、プロ並みの画像合成が可能です。

この機能を使って、実践事例集のように「パルテノン神殿訪問記」を書いたり、「サハラ砂漠横断記」など、世界各地の地理学習が「仮想旅行」という体験記を作ることでおこなえます。また、「弥生時代へタイムトラベル」や「虫の気持ちになってみよう」など、合成画像を使った学習への応用範囲は非常に広いと言えるでしょう。

【3】WEBフォトギャラリーで、「学校周辺生物図鑑」を作ろう！

学校教育にデジタルカメラが爆発的に普及してきた一方で、せっかく撮影した画像が整理されずに校内で埋もれていたり、眠ってしまっていたりしませんか？ そうならないためにも、まずはこの機能を覚えて、どんどん情報発信していきましょう！



「写真整理モード」を起動し、とりあえず学校周辺で採集した生物の写真を1つのフォルダに固めます。そして、それぞれの写真にキャプションを必ず入力しておきます。

「作成」から、「WEBフォトギャラリー」を選択。

必要な写真を読み込み、WEBページのスタイルや写真の大きさなども調整します。

いとも簡単に、WEBページが完成！ 実用性抜群！



校内植物図鑑、学校行事のスナップショット集にはじまり、お気に入り写真展、総合的な学習の調査活動や社会見学のまとめなど、こういった形式で発信できるテーマは以外に多い。

